



D.I. 質問箱

Q52

ハチ毒アレルギーについて教えてください。

A52

ハチ毒に対する抗体を持っていない人であれば、ハチに刺されても強い痛みや腫れといった局所症状のみで、通常3日間ほどで消失します。しかし以前ハチに刺され、ハチ毒に対する抗体を持っている場合、きわめて強い反応（アナフィラキシーショック）が起こる場合もあります。特に、以前ハチに刺された時に、腫れが大きく広がり、すぐにひかないで数日間続いたような場合には、その危険性が高いといわれています。（*注）

当検査センターでは、ミツバチ・スズメバチ・アシナガバチの3種類のハチアレルギー検査（IgE抗体価測定）を実施しています。一般的に、ハチに刺されてから1～2週間でIgE抗体価が上昇しますので、ハチ刺し事故後、数週間を経て検査をされることをお勧めいたします。抗体価は時間の経過とともに徐々に低下していきませんが、抗体価が下がっても再度のハチ刺し事故によってアナフィラキシー症状が起こる可能性は否定できませんので注意が必要です。

（*注：初回のハチ刺し事故でもアナフィラキシーショックが起こる場合もあります。）

お問合せ：学術データインフォメーション（D.I.）課まで

0120-14-8734（フリーダイヤル） / 082-247-4325（ダイヤルイン）



【家訓】我が家に家訓ができたのは、20数年前になります。家族4人で釣り（ゴムボート使用）に行ったとき、オールの手を忘れたのが悲劇の始まりでした。山で生木を削ってオールの先端を取り付け、沖に向かって漕ぎ出しポイントに到着。アンカーを落とそうとオールから手を離れた瞬間、オールが沈んでいくではありませんか！ オール1本だけ浮いていましたが、それも次第に離れていきます…。慌ててサビキ仕掛けを投げて引っ掛けようにもうまくいかず、投げても届かなくなりました。家族の不安な視線…。もう泳いでボートを押すしかない！？そこへプレジャーボートが通りかかったので、小型船舶の免許取得時に習った手での救難信号を送り、岸までえい航してもらいました。そのときの船長さんが「海をあもう（甘く）見たらいいかんて」と言われ、それに感動して我が家の家訓になりました。海に行く前に誰かが家訓を唱えます。父さんは、“カックン”。

濱川 以行（学術データインフォメーション課課長）

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博

